いしかりちほん

発　行
2012年8月15日
12-臨時2号
〒060-0806
札幌市北区北6条西7丁目
自治労北海道本部内
石狩地方本部
村上　真仁
TEL:011-747-1880

定年後の備え、100円から

長期共済など、退職後に必要な知識が解説された

制度を知って 万全の準備を

石狩地本自主福祉推進委員会は、これまで、なかなか会議等の開催を含めた具体的な活動ができていなかったが、今年度は委員会で協議を行い、実際に役に立つ知識を身につけることを目標に準備を進めた。

今回企画された学習会は、委員会の中で、「在職中は団体生命などがあるが、退職後はどうなっていくのか分からない」「単組で退職間際になってから慌てて相談に来たという話をよく耳にする」「長期共済自体良く分からない」などの意見を参考にし、若年層や中堅層も含めて、退職間際に対策をするのではなく、知識を深めてしっかりと事前に準備を始めることなどを目的に、学習会を開催することとした。

8月1日に自治労会館にて行われた学習会は、単組の書記長や担当者が中心となって参加、自治労共済黒坂事務局次長より、『定年後の備え、考えていますか?』と題した講演を受けた。この講演では、現職から退職後の保障イメージをはじめ、長期共済に移行する際に、年金や医療などの保障がどのようになっているのかについて詳しく解説があった。黒坂次長は「若い人はなかなか何十年も先の退職後のイメージはしにくいかもしれないが、とにかく長期共済の権利だけは持っておくことが大事。1口で1日100円（＝1ヶ月3000円）から定年後の準備が始められる。」と、若年層への対策も呼びかけた。自主福祉推進委員会は、各単組でも学習会開催ができるよう検討する。

書記のさらなる連携強化めざす

札幌ブロック書記評 総会

出前講座 「食の安全について」を受講

自治労書記評議会は石狩・後志で札幌ブロック連絡会議を構成して活動しているが、今年度の学習会と第41回の総会が8月7～8日の日程で定山渓鹿の湯で開催され、20名が参加した。前段の学習会では、札幌市の出前講座として「安全な食生活に向けて」と題し、保健所が行っている食の安全基準や各種の指導、最近話題となった、生肉の食中毒について学んだ。また、後段はそれぞれの地本書記長から「自治研活動」についての解説を受けた。

翌日行われた総会では、活動報告のあと今年度の活動方針が示され、各単組・総支部間の連携強化や書記の交流の場として研修会を開催すること、書記評ニュースなど情報提供を強化することが確認された。また、峯垣議長が引き続き再選され、「状況は厳しいが、いろいろな企画をしていきたい」と抱負を述べた。（地本書記 諸橋）

樋口書記長から制度の説明を受ける参加者＝石狩ブロック学習会

労使関係、しっかり構築

石狩地本石狩ブロック協議会は、8月10日、千歳市丸駒温泉にて、今年度の学習会を開催、ブロックを構成する管内7単組から、25名が参加した。

あいさつで協議会の石川議長は「地本専従時代に民間の労使協議に参加した。民間職場は公務と異なり、経営者の判断による影響が大きい。交渉という面では、民間労働者が一歩進んでいる。我々も労使関係の構築や組合のあり方をしっかり考えていく必要がある。」と述べた。

続いて行われた学習会では、今年度は題材として「公務員制度改革」を取り上げ、講師として、道本部の対策委員会ワーキンググループから後志地本樋口書記長を招いて制度内容について解説を受け、学習を深めた。

書記局から

久しぶりに自主福祉推進委員会が活動しました。本来はもっともっと力を入れるべき活動です。取り上げてほしい題材などありましたら、ぜひご意見をお寄せください。（む）